

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 令和元 年 6 月 28 日

仕 事 の 内 容	住宅設備改善事業			
担当部署・課長名	障害福祉 課	障害福祉 係	課長名	小川 則之

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 3	-
【施策名】 障害者福祉の推進		総合計画書 (ページ)	55	

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉	目 4	障害福祉費	事業 7	地域生活支援事業
-----	-----	-----	-----	------	-----	-------	------	----------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 身体障害児・者 【住宅設備改善】学齢児以上65歳未満の下肢・体幹2級以上の者／【屋内移動設備】学齢児以上、上肢・下肢・体幹1級以上の者	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 対象要件を備えた市内の身体障害児・者数 ※年齢要件等を考慮するのは困難なため、便宜的に肢体不自由1・2級の者とする。
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 障害児・者の日常生活の利便性が向上する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 年間の給付件数／肢体不自由1・2級の者の数
		③ そのために何をしましたか。 在宅の重度身体障害児・者に住宅設備を改善する費用を給付し、日常生活の利便を図る。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 年間の給付回数

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	605	605	595	/	/
		成果指標	②の数値	%	1.7	1.8	0.5	/	/
		目 標	②の目標値						
			目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値		10	11	3	/	/	

3	経費	事業費(実績)		円	7,989,100	3,899,800	1,552,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源		円	3,585,100	2,569,800	1,552,000	
		特定財源		円	4,404,000	1,330,000	0	
		(うち受益者負担)		円				
		人件費(再任用以外)		人	0.1	0.1	0.1	
		職員人件費(再任用)		円	826,700	825,300	824,400	
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	8,815,800	4,725,100	2,376,400			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 ・住宅設備改善は、平成18年10月の障害者自立支援法施行により、小規模改修が地域生活支援事業の日常生活用具(居宅生活動作補助用具)となり、中規模改修及び屋内移動設備が都加算事業として継続された。 当市では、地域生活支援事業に位置づけて、日常生活用具同様に給付費を支給する事業とした。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。

仕 事 の 内 容	住宅設備改善事業				
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係	課長名 小川 則之

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	・中規模改修及び屋内移動設備のみとなったため、給付件数はそれほど多くない。				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題				
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	・現状を維持し、事業を継続していく。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。